



名古屋市中川区と大府市にて 徘徊高齢者早期発見の共同模擬訓練を実施します

名古屋工業大学 未来医療介護健康情報学研究所は、名古屋市中川区および大府市と協力し、認知症高齢者徘徊見守りシステム「さがし愛ネット」の社会実験を行います。

名古屋市が行っている「はいかい高齢者おかえり支援事業」は認知症の方の徘徊による事故を防止するため、地域住人の協力を得て、徘徊されている方を早期に発見する取り組みです。この度、中川区では未来医療介護健康情報学研究所が開発した認知症高齢者徘徊見守りシステム「さがし愛ネット」を用いて、中川区役所と共同で、認知症高齢者の早期発見、声かけの模擬訓練を行います。

中川区 実施日時：11月16日（月）13:30～16:00 ※少雨決行

実施場所：中川区東部いきいき支援センターから尾頭橋交差点までの佐屋街道周辺

また、大府市は昨年度行った地域での徘徊搜索模擬訓練に加えて、今回は新たに老人ホームで施設での見守り応用を見据えた実験も行います。これは、大府市と東浦町が進める「ウェルネスバレー構想」の基本理念に沿ったモデル事業として、地域・大学・行政機関が連携して新たな方法で課題解決を目指す取り組みです。

大府市 徘徊搜索模擬訓練 実施日時：11月14日（土）13:30～16:00 ※雨天規模縮小して実施

徘徊搜索模擬訓練 実施場所：大府市吉田地区内（※集合は吉田公民館 高丘町2-2）

老人ホームでの実証実験：11月14日（土）10:00～11:30 ※雨天決行

老人ホームでの実証実験：有料老人ホーム「フラワーサーチ大府」 半月町3-230

認知症高齢者徘徊見守りシステム「さがし愛ネット」は、名古屋工業大学 未来医療介護健康情報学研究所が開発したシステムで、徘徊者が持つセンサーの信号を、アプリをダウンロードしたスマートフォンが検知すると、検知場所の位置情報を、クラウドサーバを通じ、徘徊者の家族等に伝えることが可能になります。近距離通信の世界的標準である Bluetooth での通信を採用したセンサーと、スマートフォンアプリ、クラウドサーバを組み合わせた仕組みです。GPS を内蔵したセンサーに比べ、センサーが小サイズ、軽量、充電なしで長期間（1年以上）使用可能、安価なため複数個装着可能といった特徴があります。検知可能範囲は5～50メートルです。

本件への問い合わせ：

中川区役所区民福祉部福祉課 高木 Tel: 052-363-4410 山田 Tel: 052-363-4415

大府市役所企画政策課ウェルネスバレー推進室 細谷 Tel: 0562-45-6255

名古屋工業大学 教授 岩田彰 Tel: 052-735-5423 iwata@nitech.ac.jp

広報室 Tel: 052-735-5647 pr@adm.nitech.ac.jp